令和8年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【大谷小学校】

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する資質・能力	(1)基礎・基本的な知識・技能を定着させることができる資質・能力 (2)自らの学習を調整することができる資質・能力
⇓	
実施する学力向上策【時期・頻度】	(1)「ドリルパーク」「スタディサプリ」等を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む。【単元の最初や最後に実施】 (2)課題解決の過程における自分や友達の学びの深まりや疑問に思ったこと、自分の学び方についてをふり返ることができる時間の設定。【単元末】

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	・算数の「異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題に課題が見られた。回答類型と反応率を見ると、通分を用いた大小比較において適切に説明できていない児童が多かった。 ・「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」について、肯定的な回答が9割以上であった。
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	・基礎基本的な知識・理解に加え、記述で説明することに引き続き課題がみられる。 ・多くの児童が、自らの学習について積極的に取り組み、学習を調整することに取り組んでいる。

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価(※) B	学力向上策(1)(2)ともに実施することができている。
⇓		
学力向上策の見直し	(変更なし)	

※評価　A 8割以上（達成）　B 6割以上（おおむね達成）　C 6割未満（あと一歩）

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	

⑤	年度末評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	
⇓		
今年度の成果と次年度の課題		

※評価　A 8割以上（達成）　B 6割以上（おおむね達成）　C 6割未満（あと一歩）